



幕監査第61号

平成29年8月30日

幕別町長 飯田 晴義 様

幕別町監査委員 八重柏 新 治



幕別町監査委員 乾 邦 廣



平成28年度幕別町基金の運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により審査に付された平成28年度幕別町基金運用状況について審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

平成28年度幕別町基金の運用状況審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

幕別町各基金の運用状況

2 審査の期間

平成29年7月19日から平成29年8月24日まで

3 審査の手続

審査に付された各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査手続を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

第2 審査の結果

審査に付された各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものと認められ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

当年度の運用の状況は次のとおりである。

区 分		平成27年度末 現在高	平成28年度中		平成28年度末 現在高
			取崩額	積立額	
積立 基金	財政調整基金	1,612,000,000	200,000,000	1,000,000	1,413,000,000
	減債基金	317,000,000	201,296,000	160,296,000	276,000,000
	まちづくり基金	1,696,880,074	278,248,000	277,594,000	1,696,226,074
	庁舎建設基金	100,100,000	45,263,000	10,000	54,847,000
	一般会計計	3,725,980,074	724,807,000	438,900,000	3,440,073,074
	介護給付費準備基金	90,811,611	0	40,389	90,852,000
	農業集落排水事業償還基金	15,826,924	855,506	3,989	14,975,407
	積立基金計	3,832,618,609	725,662,506	438,944,378	3,545,900,481
定額運 用基金	土地開発基金	535,357,817	0	138,668	535,496,485
	土地	180,687,212	0	0	180,687,212
	現金	354,670,605	0	138,668	354,809,273
	定額運用基金計	535,357,817	0	138,668	535,496,485
合計	現金	4,187,289,214	725,662,506	439,083,046	3,900,709,754
	土地	180,687,212	0	0	180,687,212

(注) 決算年度末現在高は、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額160,000,000円を除く。

財政調整基金は、前年度末に比して199,000,000円(12.3%)増加している。これは、1,000,000の積立があった一方200,000,000円の取り崩しがあったことによる。

減債基金は、前年度末に比して41,000,000円(12.9%)減少している。これは、160,296,000円が積み立てられた一方、201,296,000円の取り崩しがあったことによる。

まちづくり基金は、前年度末に比して654,000円(0.04%)減少している。これは、寄付金などにより277,594,000円の積み立てがあった一方、278,248,000円の取り崩しがあったことによる。

庁舎建設基金は、前年度に比して45,253,000円（45.2%）減少している。これは、100,000円が積み立てられた一方、45,263,000円の取り崩しがあったことによる。

介護給付費準備基金は、前年度末に比し40,389円（0.04%）増加している。これは、40,389円の積み立てがあったことによる。

農業集落排水事業償還基金は、前年度末に比して851,517円（5.4%）減少している。これは、3,989円が積み立てられた一方、855,506円の取り崩しがあったことによる。

土地開発基金は、前年度末に比して138,668円（0.03%）増加している。これは、現金で138,668,431円の積み立てがあったことによる。

むすび

一般会計の平成28年度末の基金残高は3,440,073千円で、前年度末に比して285,907千円（7.7%）減少している。これは、438,900千円積み立てられた一方、724,807千円の取り崩しがあったためである。

当年度決算剰余金で160,000千円が基金に繰り入れられることになったことは、厳しい財政状況の中にあって努力の跡が伺え一定の評価ができる。今後も歳入の確保と経費の節減に努め、基金残高の充実に努められたい。